

# 就学援助制度の充実は



大森 正治 議員

教育長

## 入学準備金は前年度支給をする

【大森】子どもの貧困対策として、就学援助制度の充実が重要である。

本町の就学援助の内容は十分か。

【教育長】国に準じた補助金を支給している。

修学旅行費は実費支給、給食費は全額支給している。

P T A 会費は新年度から支給する。

【大森】本町の援助率は県平均よりも低いが、保護者への周知徹底は十分か。

【教育長】新1年生の就学説明会などで資料配布し説明している。

資料に課税基準額を入れるかどうか検討したい。

いろいろな情報ツールで周知していく。

【大森】「入学準備金」の前年度支給を平成30年度にはどうするか。

【教育長】実施する。必要な時期に支給する。

# 給付制奨学金の創設を

教育長

## 対策の検討は必要

【大森】本町でも給付制の奨学金を創設することは、将来への投資として重要である。

検討しないか。

【教育長】現段階では考えてないが、教育環境の格差が課題となるなか、何らかの対策の検討は必要と考える。

【大森】同和地区のみへ

の進学奨励交付金を町内すべての生徒・学生を対象にした奨学金制度に移行したらどうか。

【教育長】交付金の継続は必要だ。ただ、いつまでも同和地区のみに限って継続するのは、見直す時期に来ている。十分検討していく。



奨学金は給付制で

# 被保険者の立場に立つ国保、介護保険に

町長

## 介護給付費準備基金の創設を検討

【大森】国保税は高く支払いに四苦八苦している世帯もある。

多子世帯ほど税負担が大きくなる。均等割は、子どもの減免について検討しないか。

【町長】全国知事会などでも国に要望している。

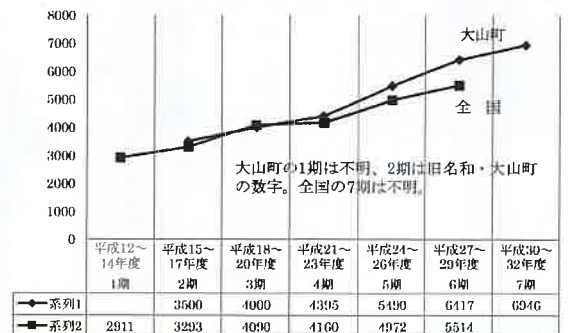
町単独で減免することは考えていない。

【大森】介護保険料は新年度からの改定で、また大幅値上げとなる。

町独自の軽減策を検討しないか。

【町長】介護給付費準備基金を創設し、介護保険財政の安定運営につとめる。

介護保険料の推移 (月額平均 単位:円)



うなぎ登りの介護保険料